

第2期「地域がん登録」研究班について

大島 明
大阪府立成人病センター調査部

1. 第1期で行った研究活動

第1期(1996-98年度)には、諸先輩の築かれた貴重な協同調査組織である研究班組織の維持、従来からの協同調査の継続、研究者の代替わりなどを図りながら、1)生存率計測の標準方式の検討、2)地域がん登録資料活用の一環として登録データを用いた neuroblastoma screening の評価、3)協同調査によって推計した全国がん罹患率・率データ活用の促進、4)稀な部位のがん罹患率の推計、5)地域がん登録の標準化を図るため「地域がん登録の手引き」の改訂作業と、6)個別の腫瘍データ収集方式の試験的実施などをおこなった。(詳細はP.2の参考文献1)を参照されたい)。

2. 全国罹患率・率協同調査における新しい計画

1999年度から3年間の予定で始まる第2期においては、第1期での作業を継続発展させるとともに、さらにこの後も「地域がん登録」研究班が引き続き承認されるよう、努力したい。厚生省では、当面、国としてがん罹患率・罹患率、がん患者の生存率のデータを推計する仕組みを研究班とは別に作る考えがないようであるので、本研究班の協同調査による推計の継続は特に重要だと考える。以下に、研究班での協同調査の計画について簡単に述べることとする。

研究班組織については、第1期の13登録室(宮城、山形、千葉、神奈川、愛知、福井、大阪、兵庫、鳥取、広島、長崎、佐賀、沖縄)に加えて、登録精度が高い新潟県と滋賀県の登録室にも研究班に参加してもらうこととした。今年度以降の全国がん罹患率・罹患率推計協同調査においては、可及的早急に、従来の集計表収集方式から個別の腫瘍データ収集方式に移行することとしたい。

(P.7 末尾より続く)

2. Parkin DM, Shanmugaratnam K, Sobin, L, et al. Histological Groups for Comparative Studies. IARC Technical Report No. 31. Lyon, France: IARC, 1998.
3. 味木和喜子他: ICD-10 用 CHECK プログラムの開発. 厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」班(主任研究者:大島明)平成9年度報告書, 同研究班, pp.77-83, 1998.

個別の腫瘍データを収集するようになれば、参加各登録において標準化が具体的に進んでいくものと考え。なお、全国値推計に用いるデータについての基準を、従来の「DCO25%未満、かつ、ID比1.5以上」から、「DCO25%未満あるいはDCN30%未満、かつ、ID比1.5以上」に変更することとした。

3. 地域がん患者の5年生存率の試算

1998年度に研究班では各登録の個別の腫瘍データ(1993年罹患データ)を試験的に収集したが、本データの対象は、今年診断後5年目を経過したことになるので、各登録室でこの対象について住民票照会による生存確認調査を実施してもらい、研究班でまとめた生存率計測標準方式に則って、がん患者の生存率を試算することを計画している。すなわち、本年度は各班員が生存確認調査の実施とそのデータ整理とを行い、来年度に研究班で生存率を協同計測する。現時点では、定期的に生存確認調査を実施している登録室は3登録室(山形、福井、大阪、ただし大阪は大阪市を除く大阪府内在住者のみ)のみであるが、これを機会に多くの登録室で、生存確認調査をおこなうしくみが確立することを期待している。なお、大阪では、このほどようやく長年の懸案であった大阪市の協力を得ることができるようになり、大阪市在住を含む全患者の住民票照会による生存確認調査の実施が可能の運びとなった。

4. 過去5年間の全国がん罹患率・率の再集計

1990-1994年罹患データの再集計については、本年実施の予定であったが、過去3年間、協同調査に不参加となった宮城県と、新たに研究班に参加されることになった新潟県、滋賀県を含め、本年研究班に参加する15登録室すべてに、このプログラムに参加してもらうべく、これから登録における準備の完了を待って、来年度に実施するよう予定を変更した。

4. 味木和喜子他: 腫瘍データによる全国協同調査実施のためのパイロット研究. 厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」班(主任研究者:大島明)平成10年度報告書, 同研究班, pp.90-124, 1999.
5. 津熊秀明: がんの拡がりや進行度分類. 大島明、津熊秀明編: がん登録実務者のためのマニュアル, 厚生省がん研究助成金「地域がん登録」研究班・がん克服10ヶ年戦略「院内がん登録」研究班, pp.56-83, 1998.